

# 水都苑

〒289-0313  
千葉県香取市小見川676-2

TEL 0478-82-3388  
FAX 0478-82-2481

第31号 社会福祉法人 国寿会

特別養護老人ホーム  
ショートステイ  
デイサービス  
居宅介護支援サービス  
ケアハウス  
水都苑  
発行責任者 力根 秀樹

平成21年度 社会福祉法人国寿会決算書 単位:千円

収入の部		支出部	
科目	金額	科目	金額
介護保険収入	302702	人件費	194025
補助金	22398	事務費	34129
寄付金・預金利息	1737	事業費	51160
雑収入	5334	減価償却費	22608
引当金戻入額	11311	引当金繰入額	12842
積立金取崩額	15335	その他の支出額	2549
合計	358817	合計	317313

賃借対照表 単位千円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	590735	流動負債	29530
固定資産	656912	固定負債	62882
うち基本財産	605208	基本金	133363
その他の固定資産	51704	補助金等特別積立金	351813
		その他積立金	4000
		次期繰越活動収支差額	666059
合計	1247647	合計	1247647

## リフトアップシート車 業務用車両購入

特養・ショートステイ送迎用の車両を購入しました。座席がそのまま車椅子になり乗降に便利です。「七人乗り」また、業務用車両としてワゴン車を購入しました。「五人乗り」



## 夏祭り

今年の水都苑夏祭りは七月二十四日(土)に開催予定です。

施設増床工事のため、今回は一階食堂で行いますのでよろしく願います。元氣よく暑さをふきとばして、楽しいひとときを過ごしたいと願っています。



## 特養増床をめざし 増築工事スタート

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年の十月に発行いたしました広報第三十号にて特別養護老人ホーム水都苑の増設にふれましたが、今後の予定や建物の概要が具体化してきましたのでご報告いたします。

現在、特別養護老人ホーム水都苑では入所希望者が入所定員数を遙かに上回っている状況で、私が施設長に就任してからの一年四カ月あまりの間にも入所希望者は更に増加し、平成二十二年四月末時点では百五十名以上の方が特養へ入所を希望されています。現在特養の定員は五十名ですが、香取市との協議により今回三十床を増設し合計八十名の特養とすることで、多くの入所待機者数の不安や家族の負担の解消軽減を図ることとなりました。(ショートステイ十名は別枠)

## 新任職員紹介



特養介護職 榮木 暁光

四月から入職しました。まだ現場に慣れていないため、戸惑い、どうしてよいかわからないこともあります。しかし利用者の方々が笑顔で満足して頂ける様に頑張っていきたいと思っています。



特養介護職 溝口 敬太

入職して三ヶ月が過ぎました。まだわからないことが多くて迷惑をかけてばかりですが、周囲の職員の適切な指導のもと、良い介護ができるように頑張りたいと思います。これからも宜しくお願いします。



看護師 吉岡 悦子

四月に入職し、戸惑うことばかりですが、水都苑で安楽・安心の余生を過ごして頂ける様、他職種と連携を取りながら皆様の健康を見守って生きたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。



特養介護職 伊藤 麻衣

四月に入職しました。まだわからないことがありますが、早く仕事を覚えて頑張って生きたいと思っています。これからもご指導宜しくお願いします。



特養介護職 寺嶋 明子

四月に入職しました。学校で数多くのことを学びましたが、現場でも日々学ぶことばかりです。まだまだ半人前ですが、先輩方のご指導の元、頑張りますので宜しくお願いします。



特養介護職 風間 里美

入職して四ヶ月が過ぎましたが、いまだに悪戦苦闘の毎日です。日々の業務の中で利用者の方と関わり、職員のご指導を受けて介護の知識を学び、技術を習得していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



特養介護職 大川 紗也香

入職して三ヶ月経ち、毎日楽しく過ごしています。初めて介護の仕事に就き、わからないことばかりで、迷惑山かけますが、一生懸命がんばりますので宜しくお願いします。

## 贈る言葉

一月から七人の方が入職しました。三人は新卒者で、フレッシュな力を発揮してくれることを期待しています。介護の現場は文字どおり「年々歳々人おなじからず」です。出会えた事を何よりも大切にしたい、喜ばれる介護の実践者をめざして下さい。



## 編集後記

植えて間もない水田の緑の色が濃くなりました。今回は施設増床工事の、みとおしなどの関係で、広報発行が遅れました。苑の行事や季節の催しは例年どおり進めていく予定です。おかげさまで、相変わらず御協力をただけますようお願いいたします。

この度の特養増床あたっては、平成七年の開設計と現在とは介護保険制度の導入などにより福祉サービスを利用する方の意識が大きく変化していることに着目し、今回増設する三十床には、小規模なグループで生活することにより、「なじみの関係と家庭的・個別的なケア」を提供するユニット方式(二十床)と大きな集団の中で個々のニーズに合わせたケアを提供し、また経済的にも負担の少ない多床室(十床)を設置することで、入所希望者の様々な御要望にお応え出来るようにいたしました。

また、既存施設におきましても社会福祉法人国寿会の掲げる基本理念、入居者一人ひとりの意向や信念を尊重し福祉サービスを提供し、入居者が心身ともに健やかに自立した日常生活を営むことが出来る介護老人福祉施設、を実現するために今回の増設と併せて見直しをいたしました。

既存施設と新棟は渡り廊下で接続し、いままでは特養とデイサービスが共用していた食堂・浴室・洗濯室等を新棟の二階に新たに特養専用として設けることにより、特養の入所者はエレベーターを使用しなくても自力で居室から食堂や娯楽室移動し、食事やレクリエーションが出来るようになるなど、行動範囲の制約が少なくなりやすくなります。また「デイサービスの利用者が過剰スペースも広げることが可能となり、利用者の増加や御要望に対応いたします。

平成二十三年四月の竣工に向け、介護・看護職員をはじめ全職員で充実した施設内研修に取り組み、入所者がより心豊かな生活が送れるよう職員質の向上を図ります。今後とも御指導御鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

### 建築概要

建設地：香取市小見川字道の下六百七十六―二  
定員数：三十名(個室二十名、多床室十名)  
敷地面積：九百八十六㎡  
延床面積：千六百十一・八十七㎡  
建物構造：鉄筋コンクリート造 地上二階建て

### 今後の予定

六月中旬 入札参加業者の選定  
七月中旬 入札  
七月下旬 着工・起工式



完成予想図

# 特 養

また来年も  
待っているよ！

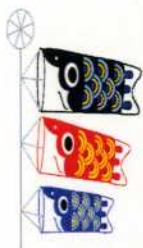
立春を過ぎて、厳しい寒さが続いた二月中旬に、北浦湖畔にある白鳥の里に行ってきました。白鳥の里には様々な水鳥や渡り鳥が飛来していて、その鳴き声や羽音が響きとてにぎやかでした。車の中からエサをあげるとたくさん鳥が近づいてきて驚きました。その中でも白鳥はほかの鳥よりひときわ大きく真っ白な羽を広げて羽ばたく姿は優美で見入っていました。白鳥の里を見学した後、潮来の道の駅でどら焼きを頂きました。おいしいどら焼きと見学したばかりの白鳥の話で終始笑顔が絶えませんでした。苑の中に居るとなかなか感じられない寒気に職員ともども身震いしながらも、こ



の時期ならではのお話もできたりするものです。寒空の中でも皆さんの表情は明るく、いきいきとした姿がみられました。

おもしろい  
泳ぐ姿

陽春の候、花の季節もいっしか過ぎて、野山は新緑が鮮やかになってきた四月二十七日、二十八日、三十日の三日間、橋ふれあい公園にこのぼりを見に行きました。鯉のぼりは子供の頃にはよく見たものですが、これだけの数を一度に見るとまさに圧巻といった感じです。車を降りて散策しつつ、緑やオレンジなど華やかな色をまとうて色鮮やかに空を泳ぐ姿を



堪能しました。そして、皆さんのお楽しみは外でいただく大判焼です。暑くもなく寒くもない快い日差しの中で皆で食べる大判焼は格別においしく感じられ、皆さんの表情も和らいでいました。



## ケアハウス

桜見学

今年の開花は遅く、茶店の方の話によると、昨夜いっせいに咲いたとの事。花曇の中、下車した私たちが満開の桜が歓迎してくれました。皆の顔もそれに応えるかの様にパツと明るくなり、早速、記念写真。「ハイ撮りますよ。」の声でカメラに向く。充分にもてなしを受け、名残り惜しむ気持ちを抱きながら香取神宮を後にしました。

## 桜見物に行ってきました

末光喜久子

今日は、楽しみにしていた外出です。集合時間の案内を見て弾んだ気持ちで車中の人となりました。下車した私達に花びらが降り注いでくれました。久しぶりの花びらの乱舞を味わうことができて、大木となった幹に長い長い



歳月を見守ってきたであろうどっしり生きている姿は、神々しくも感じます。久しぶりの花びらの乱舞を味わうことのできた楽しい一時でした。「又会いたいな名残惜しい気持ちを胸に何か引き裂かれる思いでさびしくなり花びらを五個拾って帰途につきました。

## 足湯での思い出

武雄 林一

足湯とは何だろう。天然温泉かな。あまり興味はなかった。食事の後で、女性たちがズボンの裾をまくり上げ足湯につかった。四十センチ位の深さで、中央にテーブルが

ありくつろげる様になっていった。皆が私を誘う。いつしか私も女性たちの中にいた。体の芯から温まってく。とても良い気持ちだ。足湯に対する概念が変わった。

## 足湯に入って

小山田知子

私は、栗源の足湯に行きました。夜寝ると足のすじが痛くて毎晩眠りにつくのが不安で困っていました。前日よりパンフレットをみて、黒い温泉という事で楽しみにしていました。足湯に入ったその日から、すじが痛れる事もなくぐっすり眠れました。これからも行ける事なら何回でも行きたいです。

## 楽しい運動クラブ

手工芸クラブの参加人数が減ってしまい、全員参加の人気の高い運動クラブを増やす事により、ケアハウスでの生活が少しでも楽に過ごして頂ければと思い、週一回のペースで運動クラブを行っています。その時々で異なりますが、適度の緊張感と運動量があり、皆一つになつてできる事も人気の要因になつているのでしょう。



## 新入居者を紹介します



高安アキ様

私は、五月一〇日に入居しました。何もわからない私ですが、一日も早くこの生活に慣れたいと思います。

## デイサービス

どら焼きが  
出きあがりました！

まだ寒い二月の末。暖かい室内で、出来立ての手作りどら焼きをみなさんで召し上がりました。職員が小麦粉、重曹、卵、ハチミツ等を量って、混ぜて、と準備を進め、ホットプレートで、着々と進める準備の



## 桜見物

まもなく四月になろうというのに、なかなか春の気配が感じられず、桜の開花も予想がつかない中で、今年も恒例の桜見物の時期を迎えました。

職員や利用者さんの間では「あそこはまだ蕾がかたい」とか「ちらほら開いてきたよ」



雰囲気の皆様が感じとったのか、予定開始時間よりもずっと早く、会場におそろいになりました。目の前で次々と焼かれていくどら焼きを見つめつつ「昔はこんなお菓子なんてなかったわ」と話されたり、昔の大家



族でのおやつのお話に盛り上がり話に花を咲かせていました。



「もう三分咲きくらいかな」と情報交換の毎日でした。そして待ちに待った三月の最終、桜の花も見ごろを迎え、今年最高の桜を見物に、いざ出発です。まずは香取神宮の桜のトンネルを通り抜け、続いて佐原諏訪神社へ。車中での皆さんの歓声や想い出話もはずみ、和気藹々の中、両総用水の兩岸から川にせり出すように咲く見事な桜に再びの歓声！そして十間川の桜を見て通り、最後は地元、城山公園の咲き誇る桜。待っていた甲斐がありました。皆さんの笑顔も満開となり楽しいひとときを過ごすことができました。

そうこうするうちにどら焼きがぶくつとふくれ、こんがりキツネ色に焼きあがった皮を皆様の前に。それぞれの利用者様のご希望にあわせたトッピングで、あんこたっぷり、クリームもたっぷり、あんこもおいしさもあふれ出すどら焼き。食べる利用者様のお顔からも笑顔があふれ出していきま



## 午後のひととき

デイサービスでは、午後レクリエーション活動や外出行事を行っています。(一例として)五月といえば、端午の節句という事で鯉のぼり作成をしました。まだ色のないまっさらな鯉のぼりの上に利用者様に思い思いの色をのせて頂いたウロコを貼り付けていきます。

ただ白だけの絵から、大空にはためく鯉のぼりに負けない素敵な鯉が出来上がりました。また、このほかにもいろいろな行事を予定しています。お花見・お茶会・夏祭りなど利用者様に楽しい時間・楽しい日々を過ごして頂きますように、職員一同努めています。